



「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVER THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

## 自然災害とボランティア オリンピック選手の決断

### 「ブラジル大雨で死者 145 人 パリ五輪断念し支援活動」



南米 ブラジルの南部で 4 月の末から続く大雨では、死者の数が 145 人に上っています。こうした中、この夏のパリオリンピックへの出場を断念して被災地での支援活動を行う選手も出るなど支援の輪が広がっています。

ブラジル南部のリオグランデドスル州では、4 月末からの大雨より各地で大規模な洪水が起き、現地の防災当局は 12 日の時点で 145 人の死亡が確認され、132 人の行方が分からなくなっていると発表しました。

救出活動が続く中、地元メディアなどによりますと現地ではこの夏のパリオリンピックへの出場を断念して被災者の支援を行う選手も出ています。

このうち、地元の州出身のエバウド・ベッケリ選手とピエドロ・トゥテンハーゲン選手の 2 人は、5 月 19 日からスイスで行われるボート競技のひとつであるローイング男子の予選に出場する予定でしたが、被災地に残り、ボランティアを続けることを決めました。(NHK ニュース)



ブラジル南部の大雨による被害の様子



オリンピックの予選出場を辞退し、ボランティア活動に専念するピエドロ・トゥテンハーゲン選手

日本は言わずと知れた自然災害の多い国です。日本の土地は全世界のたった 0.29% ですがそのうち世界で起こったマグニチュード 6 以上の地震の 18.5% が日本で発生しています。我々が日本やシンガポール、その他の地域で生活していく中で、これらの災害以外にも台風や豪雪、津波、噴火など様々な自然災害に直面する恐れがあります。そのような災害に直面したときに自分がどのように行動したらよいのか、自分や周りの人のために何ができるのかを普段から考えていくことが大切です。河川の氾濫などを防ぐために堤防を設置する防災の考え、それとは別に仮に災害が発生したとしても被害をなるべく抑える減災の考え方、どちらの考え方も身に付けておくことが大切です。今一度、自分たちにできるボランティア活動や防災・減災について家族やお友達、先生とシェアをしていっしょに考えていきましょう。(四本)